

保存版

学びの手引き

学び確かに 心豊かに 体たくましく

〈保存版〉



基山町立若基小学校

保護者の皆様へ

家庭と学校の連携で学ぶ力を育みましょう。

学力を向上させることは、学校教育の重要な役割ですが、家庭の関わり方によってその効果は大きく変わります。発達段階に応じた学校での学習指導と家庭学習の相乗効果で、より効果的に子どもたちの学力を育てていきたいと考えています。

若基小学校では、学習のしつけをきちんと身に付けさせるために、「学びの手引き」をリニューアルしました。どうぞ参考にしていただき、家庭でのよりよい生活習慣・学習習慣の定着に生かしていただきたいと思っております。家庭と学校が連携して、子どもたちの自らすすんで学ぶ力を育てていきましょう。

学力の向上につながる3つの習慣

1. 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

- 早寝・早起きと朝ごはんを食べる習慣をつける。
- 気持ちのよいあいさつや返事，正しい言葉遣いができる。
- 進んでお手伝いをする。
- テレビ（ゲーム）の視聴時間を決め，きちんと守る。



2. 家庭での学習習慣を身に付けさせましょう。

- 決まった場所での一定の時間勉強する。
- 宿題と自主学習に取り組む。
- テレビや音楽を消して集中できる環境を作る。



3. 読書や習慣を身に付けさせましょう。

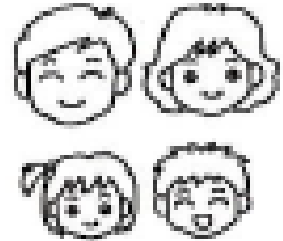
- 学校や地域の図書館に進んで通って読む。
- いろいろなジャンルの本に親しむ。
- 親子で読んだり，感想を話したりする。



家庭学習における保護者の役割

○ 家庭学習の習慣化は、基本的な生活習慣の確立から

家庭は、安らぎの場であるのはもちろんですが、自分を伸ばす学びの場でもあります。そこで、家庭でも学習する習慣をしっかりと身に付けてもらいたいと思います。「早寝・早起き・朝ごはん」のよい習慣は、生活リズムを整え、好ましい学習習慣にもつながります。ゲームやテレビの時間が長かったり、夜更かししたりすると、睡眠時間が十分に取れず、次の日の学校での学習にもやる気が出ない、集中できないなど、悪い影響が出てしまいます。家庭学習の習慣化を図るために、まず基本的な生活習慣の確立を行っていきましょう。



○ 学習時間の確保と集中できる環境づくりを

保護者の方もお仕事で、子どもたちも塾や習い事などで忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう習慣」を身に付けさせましょう。お子さまと勉強を始める時刻を決め、時間を設定してください。自分から学習に向かう姿勢ができるまで、「何時からは勉強ね。」と声をかけてあげてください。

また、学習中にテレビがついていたり、ゲームの音が聞こえていたりすると、集中できず、効果は上がりません。お子さまが集中し、落ち着いて学習に取り組むことができるような環境づくりに協力してあげてください。

○ 「声かけ・見届け・励まし」で、やる気を高めよう。

できるだけお子さまの傍について学習したことに目を通し、声かけをしましょう。ほめたり励ましたりすることで、やる気が出て、学習することが楽しくなっていきます。間違えたり分からなかったりするときは、怒るのではなく、教科書やノートを見て一緒に考えてあげたり、アドバイスをしてあげたりしてください。

○ 読書は、見えない学力を伸ばします。

読書は、語彙や知識を増やし、想像力を豊かにし、文章の理解力・表現力を伸ばします。さらに心も成長させてくれます。お子さまに読書の習慣をぜひ身に付けさせてください。

そのために、

- ①音読を聞いてあげる。
- ②読み聞かせをする。
- ③一緒に読書をする。
- ④面白い本を教える。
- ⑤本屋や図書館に連れて行く。

などをやってみましょう。



家庭学習のめやす



家庭学習習慣づくりと学力向上に向けて、若基小学校で作成した「家庭学習のめやす」です。宿題は、各クラスの実態に応じて、毎日担任が組み合わせて出していきます。

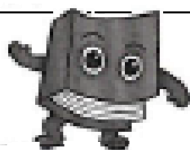
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
めやすの時間	20分	30分	40分	50分	60分	70分
基本メニューの例 <small>(組み合わせて宿題で)</small> 自主学習	音読	音読	音読	音読	音読	音読
	計算カード	計算カード	計算	計算	計算	計算
	プリントドリル	プリントドリル	プリントドリル	プリントドリル	プリントドリル	プリントドリル
	漢字 新出漢字 年間 80 字	漢字 新出漢字 年間 160 字	漢字 新出漢字 年間 200 字	漢字 新出漢字 年間 200 字	漢字 新出漢字 年間 185 字	漢字 新出漢字 年間 181 字
	自学ノート	自学ノート	自学ノート	自学ノート	自学ノート	自学ノート
	問題集など	問題集など	問題集など	問題集など	問題集など	問題集など
	読書 おすすめの本 30冊	読書 おすすめの本 30冊	読書 おすすめの本 30冊	読書 おすすめの本 30冊	読書 おすすめの本 30冊	読書 おすすめの本 30冊

小学校 1・2 年生

めあて 基本的な学習習慣を身に付ける。

こんな時期です…

- 基本的な生活習慣とともに家庭学習の習慣をつくる時期です。これからの学習の土台をつくる大切な時期です。
- 一人で学習の内容や方法を決めることは難しいです。家族の協力が必要です。「よくできたね。」「すごいね。」など褒めることで、ぐんと意欲が出ます。
- いろんなことに興味・関心を持ち、なんでも知りたがります。たくさん話をしましょう。大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。



学習のメニュー

- 【国語】読む
 - ・本を大きな声で、すらすらと読めるように、毎日練習しましょう。
 - ・「、」や「。」に気を付けてはつきり読みましょう。
- 書く
 - ・ひらがな、かたかな、漢字を正しく書けるように練習しましょう。
 - ・教科書の文を、正しく写しましょう。
 - ・「～は」「～を」「～へ」を正しく使って、作文や日記に書きましょう。
- 漢字
 - ・正しく読んだり書いたりできるように、筆順にも気をつけて練習しましょう。
(1年生 80文字, 2年生 160字)
- 読書
 - ・目標冊数 30冊 (年間)
 - ・おうちの人から読んでもらったり、おうちの人と一緒に読んだり、おうちの人に読んであげたりしましょう。
- 【算数】計算
 - ・教科書やプリント、ドリルなどの問題が、正しく計算できるように練習しましょう。慣れたら、少しずつスピードをあげてやってみましょう。
 - ・間違った問題は、やり直して計算の手順をしっかりと覚えましょう。手順を言いながら計算をするのもよいでしょう。
- 【調べ学習】
 - ・図鑑や本を見たり、実際に観察したりしたことを、絵や分でまとめてみましょう。
- 【日記】
 - ・1日のできごとや心に残ったことを順序よく書いてみましょう。

小学校 3・4 年生

めあて 自分で学習に向かう習慣を身に付ける。

こんな時期です…

- 好奇心が旺盛になり、自立心が芽生えてきて、自分でやろうとすることが多くなります。問題解決能力の発達に伴って、学習にも意欲をもつ時期です。自分でできることは、自分でさせるようにしていくことが大切です。
- まだまだ大人の手助けは必要です。子どもの「やる気」を見逃さないようにして、ほめたり励ましたりして、意欲を引き出していきましょう。
- 時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自立心や学習への集中力を高めることにつながります。特に、テレビやゲームの時間を家族で話し合っ決めて、自分で守らせるようにしましょう。



学習のメニュー

- 【国語】 読む
 - ・本を大きな声で、すらすらと読めるように、毎日練習しましょう。
 - ・「、」や「。」に気を付けてはっきり読みましょう。
 - ・詩やことわざなどを、暗唱しましょう。
- 書く
 - ・会話文や例えを使って、自分の考えや気持ちを書きましよう。
 - ・意味の分からない言葉を国語辞典などで調べましよう。そして、その言葉を使って短い文を書いてみましよう。
- 漢字
 - ・正しく読んだり書いたりできるように、筆順にも気をつけて練習ましよう。
(3年生 200文字, 4年生 200字)
- 読書
 - ・おすすめの本を読みましよう。目標冊数 30冊(年間)
 - ・おうちの人と一緒に読んだり、聞いてもらったりましよう。
- 【算数】 計算
 - ・教科書やプリント、ドリルの問題が、正しく計算できるようにましよう。
 - ・計算の手順をしっかりと覚え、速く計算できるように練習ましよう。
 - ・テストやプリント、ドリルの間違いは、必ずやり直して正しい答えややり方を覚えましよう。
- 図形
 - ・図形の名前や特ちょうを覚えましよう。
 - ・三角定規や分度器、コンパスが正しく使えるように練習ましよう。
- 【社会】
 - ・地域や佐賀県について調べたことをノートにまとめましよう。
 - ・地図記号や地図のきまりを覚えて地図の見方に慣れましよう。
- 【理科】
 - ・実験や観察の仕方やわかったこと、授業中の先生の話や自分が考えたことなどをノートにまとめましよう。
 - ・新しく出てきた言葉や道具の名前などをしっかりと覚えましよう。
 - ・授業で習った内容や関連することを、事典・図鑑やインターネットで調べてまとめましよう。

小学校 5・6 年生

めあて 計画をたて、自力で学習を進める。

こんな時期です…

- 知的な能力では、抽象的、論理的思考ができるようになる時期です。将来の夢、勉強する目的など、目標を持って努力することの大切さを伝えていきましょう。
- 自立心が強くなり、第二反抗期を迎える時期でもあります。一方的な指示・命令は逆効果な時もあります。めあてを決めて努力できるようあたたかく見守りながら励ましましょう。
- 今一度、生活習慣を見直しましょう。生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身に付きます。その日の計画を立て、見通しを持って学習させるようにすることが大切です。



学習のメニュー

- 【国語】読む
 - ・本を声に出して、すらすらと読めるように練習しましょう。
(国語・社会・理科等)
 - ・「、」や「。」に気を付けてはつきり読みましょう。
 - ・詩や俳句、短歌、百人一首、古典などを進んで調べましょう。
- 書く
 - ・構成を考え、自分の考えや気持ちを意見文や感想文、日記などに書きましょう。
- 漢字
 - ・正しく読んだり書いたりできるように、筆順や送り仮名にも気をつけて練習しましょう。(5年生 185文字, 4年生 181字)
- 読書
 - ・おすすめの本を読みましょう。目標冊数 30冊(年間)
 - ・おうちの人と一緒に読んだり、読んだ本について話したりしましょう。
- 【算数】計算
 - ・教科書やプリント、ドリルの問題を、正しくできるようにしましょう。
 - ・計算の手順をしっかりと覚え、速く計算できるように練習しましょう。
 - ・テストやプリント、ドリルの間違いは、必ずやり直して正しい答えややり方を覚えましょう。
- 図形
 - ・図形の名前や特ちょう、面積や体積を求める公式などを覚え、それを使って問題が解けるように練習しましょう。
- 【社会】
 - ・授業で習った勉強(日本の国土や産業、歴史上の人物や政治のしくみ)について、調べたことをノートにまとめましょう。
 - ・都道府県や日本の周りの国々、歴史上の人物やできごとなどを覚えましょう。
- 【理科】
 - ・実験・観察で分かったことを、生活の中の減少と結びつけながら考察したり、関連することを事典・図鑑やインターネットで調べたりしてノートにまとめましょう。
 - ・科学的な表現や言葉、実験や観察用具の名前などをしっかりと覚えましょう。

学校での学習習慣



学習中の正しい学習習慣が身に付くと、学習効果が上がります。そのために学校では次のような取り組みを行っています。

○学習の5つの約束

- ① 学習用具の準備をしてから休み時間をする。
- ② 時計を見て、チャイムの前に席に着く。

ノートや教科書を開いて学習を始める準備をする。

- ③ 始め・終わりのあいさつや返事をきちんとする。
- ④ 正しい座り方で座る。(グー・ペタ・ピン)
- ⑤ 話す相手を見て聞く。(目と耳と心で)

話し方名人

あいてを見て
そがず めっへん
うつくしい つくし
えがおで
わりまで ほっきりと

聞き方名人

あいてを見て
つしょうけんめい
うなずきながら
えがおで
しまいまで

○いすに座った時の姿勢を保つ。

頭をあげて、背筋を伸ばすと脳の血流量が多くなり、前頭葉を活性化させます。

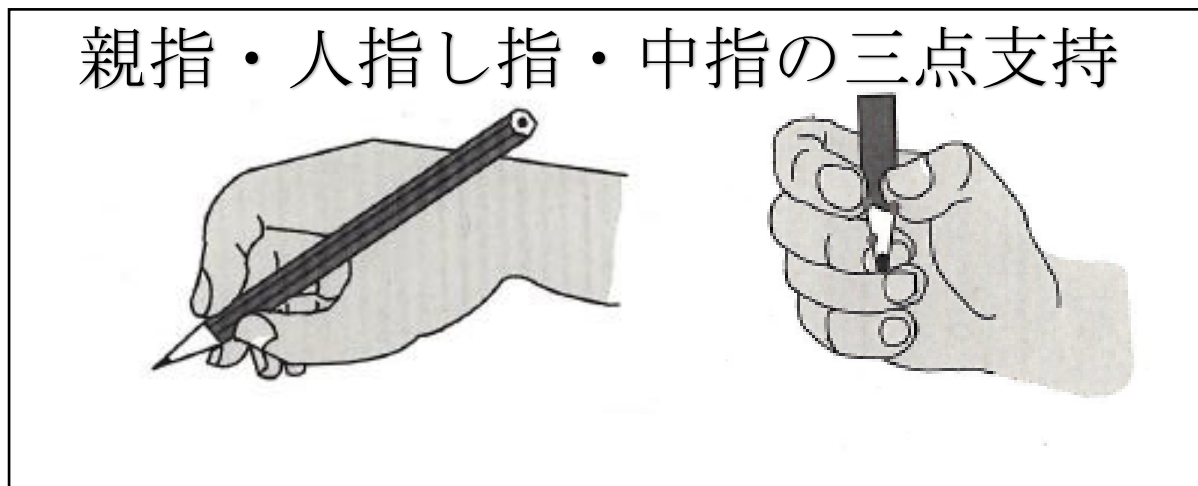
背筋を伸ばし、集中することで学習に根気強く、物事に向かっていく心身の心構えができます。

「自分の腰を自らの意思で立て、背筋を伸ばした姿勢を保つ」その感覚を覚えさせていくことが大切です。



○正しく鉛筆を持って書く。

鉛筆の正しい持ち方を習得すれば、バランスのとれたきれいな文字を書くことができます。また、手や方も疲れにくく、文字を長い時間書くことができます。



正しく鉛筆を持たせるためのポイント

- ① 手首を机の上につける。
- ② 鉛筆を傾きすぎない、立ちすぎない角度で持つ。
- ③ 鉛筆を持った手は、小さな卵をにぎったような形にする。
- ④ 中指、薬指、小指は軽めに丸める。
- ⑤ 指に力を入れすぎないようにする。
- ⑥ 中指の第1関節で鉛筆を受けるようにする。

○ 筆箱の中を整理し、必要な時にすぐに使えるようにする。

- ・鉛筆は、毎日家で削って持って来る。
- ・飾りやアクセサリがなく、シンプルで使いやすいものを持って来る。
- ・シャープペンシルは、学校では使用しない。
- ・ノートに書くときは、下じきを使う。
- ・筆箱と中のもの、すべてに名前を書く。
- ・学習に必要なもの以外は持って来ない。

☆学校に必要なもののみ持って来る。

 **筆箱の中**

- ・えんぴつ5本
- ・消しゴム (シンプルなもの)
- ・名前ペン
- ・赤と青のペン (色えんぴつ)
- ・マーカー1本
- ・ものさし

○のり、はさみ、色鉛筆…シンプルなもの

○シャープペンシルは使わない。

○教科書は大切に使う。

○ 集中して学習できるよう、書くときの姿勢を意識する。

- ① 机と体の間は、にぎりこぶし1つ分程度の間隔をとり、背筋を伸ばして腰かける。そのときに、背もたれにかからないようにする。
- ② 足のうらを床につけ、安定させる。
- ③ 机の上を整頓し、学習しやすいようにする。
- ④ きき手でない手でノートを押さえ、ノートから30cmほど目を離して書く。
- ⑤ 教科書は、ノートの反対側に置く。

**家庭学習の時にも取り組み、
一層効果を高めていきましょう。**

おなか グー
あしのうらベタ
せなか ビン



かていがくしゅう　こころえ 家庭学習の心得

家での学習を始める前に…



さあ、学習を始めましょう。

1. 今日の宿題を確かめましょう。+
2. 決まった時間、決まった場所でやりましょう。
3. 自分の力でやって、どうしても分からないときは、おうちの人に聞きましょう。
4. 今日の宿題が、全部終わったか確かめて、明日の準備をしましょう。